



第92回 2024(令和6)年度

全国盲学校弁論大会 全国大会

プログラム

●日時：2024(令和6)年10月4日(金) 9時00分～12時30分

●会場：公立学校共済組合水戸宿泊所
ホテルレイクビュー水戸

茨城県水戸市宮町1-6-1 電話029-224-2727
◇JR「水戸駅」南口下車 徒歩約3分

主催／全国盲学校長会
毎日新聞社点字毎日
毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

主管校／茨城県立盲学校

後援／文部科学省
茨城県教育委員会
NHK
日本点字図書館
日本ライトハウス
全国盲学校PTA連合会
一般社団法人 水戸観光コンベンション協会
(順不同)

協賛／一般財団法人安全交通試験研究センター
日本ライトハウス
(順不同)

特別協賛／住友グループ広報委員会 公文教育研究会

本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) の共通目的基金の助成を受け実施されています。

第92回全国盲学校弁論大会全国大会

開 会 式

開 会
開 会 の 言 葉
あ い さ つ

毎日新聞社点字毎日編集長
全国盲学校長会会長(東京都立文京盲学校校長)
茨城県立盲学校 校長

9:00

濱井 良文
安田 咲登子
鏑木 治

来 賓 祝 辞

文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課
特 別 支 援 教 育 調 査 官
住友グループ広報委員会事務局長
(住友商事株式会社 理事 広報部長)

森田 浩司
長澤 修一

来 賓 及 び 審 査 員 紹 介
弁 論 規 定

弁 論

全国7地区代表9弁士
(開催地の関東・甲信越地区からは3人)

アトラクション

那珂市 癒しの実音楽工房 村上 守・真理子夫妻

閉 会 式

講評と成績発表
特 別 講 評

審査員長 明治大学・日本社会事業大学講師 堀越 喜晴
作曲家・作詞家・シンガーソングライター・
ラジオパーソナリティー マシコタツロウ

表 彰 式

優 勝 文部科学大臣優勝旗 点字毎日杯 点字毎日盾
毎日新聞社会事業団杯 日本点字図書館杯 住友グループ杯

準優勝 点字毎日盾

第3位 点字毎日盾

特別賞 日本ライトハウス盾

優秀賞 全国盲学校長会会長賞 住友グループ個人賞

記念品 公文教育研究会

閉 会 の 言 葉
閉 会

毎日新聞社点字毎日編集長

濱井 良文

12:30

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第 1 回～46回			
第 1 回(S 3 年)	大 分 県 立 盲 啞 学 校	二宮 義雄	特殊教育の充実と盲人の使命
第 2 回(4 年)	大 阪 市 立 盲 学 校	森田 正一	順風をはらんで神に祈る
第 3 回(5 年)	山口県立下関盲啞学校	渡辺 雅美	開拓者の精神
第 4 回(6 年)	和歌山県立盲啞学校	山根木正嗣	吾人の誓い
第 5 回(7 年)	東京盲人技術学校	熊谷 善一	光は闇の中に輝く
第 6 回(8 年)	大 阪 府 立 盲 学 校	田村 次郎	うんとやりましょう諸共に
第 7 回(9 年)	熊 本 県 立 盲 学 校	中島 之典	私の信念
第 8 回(10年)	京 都 府 立 盲 学 校	西崎 清	あきらめの彼方へ
第 9 回(11年)	和歌山県立盲啞学校	松本 富穂	退いて無名の英雄たれ
第10回(12年)	大 阪 府 立 盲 学 校	丹下 薫	二つの信条
第11回(13年)	新潟県立新潟盲学校	奥住 勇	種を蒔く人
第12回(14年)	東京同愛盲学校	樋口 鶴男	二つの潮流
第13回(15年)	広 島 県 立 盲 学 校	吉沢 茂	世界一の果報者
第14回(16年)	和歌山県立盲啞学校	成田 周三	真実の世界を求めて
第15回(17年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	栗井 禮次	武器なき闘い
第16回(18年)	岡 山 県 立 盲 啞 学 校	山田 典子	日本の腰を強めましょう
第17回(22年)	奈良県立盲啞学校	西田 和恵	盲女性の要望
第18回(23年)	静岡県立静岡盲学校	井村淳一郎	母性愛にこたえて
第19回(24年)	石 川 県 立 盲 学 校	宮沢 秀明	新しい母
第20回(25年)	愛知県立名古屋盲学校	花井 久子	愛の盲女子ホーム建設
第21回(26年)	京 都 府 立 盲 学 校	白島 庸	点字書籍を増やすには
第22回(27年)	大 阪 府 立 盲 学 校	近藤 敏郎	プライユにこたえて
第23回(28年)	大 阪 府 立 盲 学 校	津野 幸治	偽るなかれ
第24回(29年)	広 島 県 立 盲 学 校	藤正 坂二	平和のとしび
第25回(30年)	大 分 県 立 盲 学 校	中村 茂	存在への勇氣
第26回(31年)	石 川 県 立 盲 学 校	宮村 健二	友情箱
第27回(32年)	大 阪 府 立 盲 学 校	小坂 吉明	小さな革命
第28回(33年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	竹本 春子	イソップ物語に学ぶ
第29回(35年)	新潟県立高田盲学校	太刀川 武	平凡なる非凡
第30回(36年)	岡山県立岡山盲学校	佐川 澄子	青い小鳥を自己の手で
第31回(37年)	新潟県立高田盲学校	古川 正雄	信和寮と私
第32回(38年)	新潟県立高田盲学校	信保 明子	小さな勇氣
第33回(39年)	愛知県立豊橋盲学校	水谷 嘉子	友情に生きたい
第34回(40年)	大 阪 府 立 盲 学 校	岩井 和彦	理解されない盲人
第35回(41年)	徳島県立徳島盲学校	松尾 素子	再び歩み始める
第36回(42年)	新潟県立高田盲学校	野沢 信子	盲学校という名に耐えて
第37回(43年)	大 阪 市 立 盲 学 校	亀甲 孝一	点字制定記念日に思う
第38回(44年)	和歌山県立和歌山盲学校	森本 和秀	可能性への挑戦
第39回(45年)	大 阪 府 立 盲 学 校	戸田 繁	奉仕と感謝
第40回(46年)	高 知 県 立 盲 学 校	小松 俊子	ある感動
第41回(47年)	大 阪 市 立 盲 学 校	渡辺 昭一	教育と職業の保障を
第42回(48年)	香 川 県 立 盲 学 校	川田 隆一	希望に燃えて
第43回(49年)	静岡県立浜松盲学校	田中そのめ	夢からの第一歩
第44回(50年)	岩 手 県 立 盲 学 校	佐々木 実	人間復活
第45回(51年)	鹿児島県立鹿児島盲学校	脇園 寿子	前を向いて生きよう
第46回(52年)	大 阪 市 立 盲 学 校	裕 久修	科学技術時代に思う

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第47回～91回			
第47回(53年)	山 口 県 立 盲 学 校	舩井さつき	ペルーから日本へ
第48回(54年)	熊 本 県 立 盲 学 校	山崎 浩三	病気との闘い
第49回(55年)	大 阪 府 立 盲 学 校	田中 康弘	甘えを捨てて
第50回(56年)	愛媛県立松山盲学校	豊田 初江	杖
第51回(57年)	大 阪 府 立 盲 学 校	尾鼻 達朗	あと一步
第52回(58年)	福岡県立福岡盲学校	田端 里美	私の見つけた青い鳥
第53回(59年)	静岡県立浜松盲学校	藤田 寿美	出会いということ
第54回(60年)	三 重 県 立 盲 学 校	平井 正信	今、新しい人生が
第55回(61年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	蒲生 明美	はばたく私の青春
第56回(62年)	大 阪 府 立 盲 学 校	小林 一尚	心
第57回(63年)	大 阪 市 立 盲 学 校	山本 真弓	あなたのバーを今少し高く
第58回(H元年)	青 森 県 立 盲 学 校	沢田 彰郎	小さな社会から
第59回(2 年)	北 海 道 高 等 盲 学 校	渡部 菜子	心から心へ
第60回(3 年)	熊 本 県 立 盲 学 校	嶽野 寛子	「看護婦さん」っていいなあ
第61回(4 年)	宮 城 県 立 盲 学 校	浅野目 誠	かけがえのない自分を見つめて
第62回(5 年)	筑波大学附属盲学校	南沢 創	釣堀とともに
第63回(6 年)	福岡県立柳河盲学校	籾内智佳子	日の光 色に見ずとも
第64回(7 年)	福 井 県 立 盲 学 校	前田 智洋	未知の世界への挑戦
第65回(8 年)	東京都立八王子盲学校	北 葉子	私が好き
第66回(9 年)	福岡県立柳河盲学校	原田 淳一	川に流したもの
第67回(10年)	北 海 道 高 等 盲 学 校	花尻真由美	ボランティア
第68回(11年)	福岡県立福岡盲学校	井上美由紀	母の涙
第69回(12年)	富 山 県 立 盲 学 校	島崎 真美	コーラス
第70回(13年)	神 戸 市 立 盲 学 校	荒木 温子	ずっと一緒だよ
第71回(14年)	福岡県立福岡高等盲学校	清水 蔵隆	心のハンディキャップ
第72回(15年)	神 戸 市 立 盲 学 校	荒木 温子	私の表情
第73回(16年)	静岡県立静岡盲学校	守屋 剛	黒電話
第74回(17年)	北 海 道 札 幌 盲 学 校	柴田 裕里	犬の耳が欲しい
第75回(18年)	岡山県立岡山盲学校	竹本登久子	悔いのない今日を生きる
第76回(19年)	大 阪 市 立 盲 学 校	三ツ井直樹	働く喜び 実らせて
第77回(20年)	福 島 県 立 盲 学 校	鈴木 祐花	踏み出す
第78回(21年)	筑波大学附属視覚特別支援学校	ファン・バン・ソン	僕に続く後輩たちのために
第79回(22年)	奈 良 県 立 盲 学 校	川添 愛	空へ
第80回(23年)	和歌山県立和歌山盲学校	中 麻	世界にひとつの宝物
第81回(24年)	愛媛県立松山盲学校	富永 広幸	私と家族
第82回(25年)	茨 城 県 立 盲 学 校	山口 凌河	笑顔
第83回(26年)	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校	柿野 明里	守りたい
第84回(27年)	福 島 県 立 盲 学 校	渡邊 健	光り輝くあの月へ
第85回(28年)	福 井 県 立 盲 学 校	松田えりか	私は回遊魚
第86回(29年)	静岡県立浜松視覚特別支援学校	望月 達哉	Ame(あめ)
第87回(30年)	大阪府立大阪南視覚支援学校	阿部 亮介	視覚障がい者だから
第88回(R 元年)	福島県立視覚支援学校	常松 桜	シロウサギ
第89回(3 年)	岐阜県立岐阜盲学校	古田 桃香	一歩ずつ前へ
第90回(4 年)	神 戸 市 立 盲 学 校	浅井 花音	母が教えてくれたこと
第91回(5 年)	大阪府立大阪南視覚支援学校	酒井 響希	無意識の壁

弁論

主管校優秀弁論

「できることを増やしたい」

茨城県立盲学校 中学部2年

内田 朱花 (13)

1. 北海道地区代表

「Magic Together」

北海道札幌視覚支援学校 高等部普通科3年

佐々木 大輔 (17)

2. 近畿地区代表

「流れ星」

大阪府立大阪北視覚支援学校 高等部普通科3年

杉浦 なつき (18)

3. 関東・甲信越地区代表

「胸を張って」

茨城県立盲学校 高等部普通科2年

フロレス アンジリン ユ (17)

4. 関東・甲信越地区代表

「いつか叶うその日まで」

筑波大学附属視覚特別支援学校 高等部専攻科理学療法科1年

渡辺 健 (21)

5. 中部地区代表

「コミュニケーションから考えた将来のこと」

石川県立盲学校 高等部普通科3年

横山 莉世 (18)

6. 九州地区代表

「幸せの雨音」

鹿児島県立鹿児島盲学校 高等部専攻科理療科2年

当田 保代 (50)

7. 中国・四国地区代表

「誰かの『他人』」

香川県立視覚支援学校 高等部普通科3年

木村 心音 (18)

8. 関東・甲信越地区代表

「大切な場所」

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 高等部普通科3年

カーン・ファティマ・フランシスコ (18)

9. 東北地区代表

「『友達』とは」

宮城県立視覚支援学校 中学部2年

鈴木 琉斗 (13)

審査員 (敬称略、順不同)

〈審査員長〉

明治大学、日本社会事業大学講師

堀越 喜晴

茨城県教育庁 学校教育部特別支援教育課長

仲野 祐二

NHK コンテンツ制作局 第1制作センター(福祉)
チーフ・ディレクター

錦織 直人

毎日新聞大阪本社 編集局長

木戸 哲

住友グループ広報委員会

平原 一央

(住友重機械工業株式会社 IR広報部 部長代理)

〈特別審査員〉

作曲家・作詞家・シンガーソングライター・

ラジオパーソナリティー

マシコタツロウ



週刊新聞「点字毎日」ご案内

「点字毎日」は、毎日新聞社が視覚障害者向けのニュースを独自に取材・編集する週刊新聞です。創刊は1922(大正11)年。各種メディアで発行しています。

「点字版」A4判60㌔、購読料1年(50回)20,000円(非課税)
「活字版」タブロイド判12㌔、購読料1年(50回)13,094円(送料込み)
「音声版」CD1枚(180分)、購読料1年(25回※2週分)31,428円(送料込み)

お申し込み・お問い合わせは点字毎日購読係
(電話 06・6346・8388、ファクス 06・6346・8385、
メール tenmai@mainichi.co.jp)まで。

特別審査員

作曲家・作詞家・シンガーソングライター・ラジオパーソナリティー マシコタツロウ

茨城県常陸太田市出身。いばらき大使・常陸太田市観光大使・茨城町ふるさと大使。

一青窈「ハナミズキ」をはじめ、郷ひろみ、EXILE、香西かおりと数多くの楽曲提供を手がけるほか、小学校・高校校歌なども手がける。茨城放送の「MUSIC STATE」のパーソナリティーとしても活動。

2023年1月には作家活動20周年を記念してオリジナルフルアルバム「CITY COUNTRY PRESENT PAST」リリース。

2024年10月6日には茨城県常陸太田市パルティホールにて、常陸太田市市制施行70周年・合併20周年記念事業「空があるまち音楽フェス 2024」を開催。



アトラクション

那珂市 癒しの実音楽工房 村上 守・真理子夫妻

茨城県立盲学校を卒業した2人が、1998年に、1曲を全国から集まった合唱とオーケストラ200名で演奏する、24時間テレビの企画に、守はトランペット、真理子はフルートで出演し、出会った。守はギターを盲学校の小学5年時から始め独学で習得。真理子はフルートを中学の部活で始め、昭和音楽大学短期大学部を卒業。現在は、那珂市で治療院を営む傍ら、年3回、健康に聴くコンサート(マッサージ鍼灸師による演奏も聴けるツボ健康教室)を企画、出演。年2回、癒しの実コンサート(心に働き掛けるコンサート)を企画、出演。小・中学校、社会福祉協議会などが企画する障害者理解、人権啓発などのイベント、高齢者施設、その他各種団体や企業などが行う会員向け・一般向けのイベントにて演奏している。



ヘレン・ケラー女史と
岩橋武夫(1937)

皆様のご健闘をお祈りします。

それぞれの学校や地区の弁論大会を経て、晴れてこの大会に臨まれるみなさんです。心おきなく磨きに磨かれた弁論を発表されますようお祈りします。日本ライトハウスの創業者岩橋武夫は、声はよくなかったようですが、その内容は聞く人の心に語りかけるという点で高く評価されたそうです。会場に皆さんの若い主張を高らかに響かせて下さい。

社会福祉法人日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫

視覚障害リハビリテーションセンター
盲導犬訓練所
情報文化センター
点字情報技術センター

法人本部 大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL (06)6961-5521 FAX (06)6968-2059
E-mail info@lighthouse.or.jp
URL <https://www.lighthouse.or.jp/>

祝

全国盲学校弁論大会



1967(S42).3.18 敷設第1号

—— 点字ブロックのパイオニア ——



一般財団法人

安全交通試験研究センター

TRAFFIC SAFETY RESEARCH CENTER, INC.

〒700-0024 岡山市北区駅元町15番1号 (リットシティビル 7F)

TEL.086-252-1212(代表) FAX.086-252-1213

<http://www.tsrc.or.jp/>